

Campus Today



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学

長野県塩尻市広丘郷原1780

☎ (0263) 52-3100

www.mdu.ac.jp

1部60円

健康講座「おはなしカフェ」で病院をPR

リラックスした雰囲気で歯科・医科健康講座 スペシャルリストが専門分野を解説

松本歯科大学病院は、地域医療の拠点として地域住民の健康意識を高めるとともに病院の認知度向上をめざすことを目的に、ミニ健康講座「おはなしカフェ」を11月29日（金）、本館北棟1階病院ラウンジで初めて開催した。コーヒーやお茶を提供しリラックスした雰囲気の中で、歯科・医科診療部門のスペシャルリストが毎回異なるテーマで専門分野を解説。病院の充実した歯科医科連携診療や受診手順なども紹介し、健康づくりに役立つ情報を分かりやすく伝えていく。

初回は地域連携歯科学講座の配島弘之教授が「飲み込む機能の老化防止」をテーマに、食べることの老化について説明し、その対処法を伝えた。

配島教授は、老化の特徴として筋肉が衰えて脂肪に変化しパワーダウンやスピードダウンをもたらすが、高齢者でも夜しっかり睡眠をとると成長ホル



病院ラウンジで飲み込む機能の老化防止について話す配島教授

モンが出て筋肉がつくことを前置きし、「しかし若いときよりも修復力は弱いので、筋肉のトレーニングは大切です。口腔に関しては従来の飲み込む機能を維持できれば、病気や老化などによる誤嚥を防ぎ、誤嚥性肺炎の危険性を低くすることが出来ます」と話した。そのため喉仏を鍛える開口訓練や舌の

筋トレ、食べたものが気管に入らないように声門を閉じるトレーニングなどを実践しながら指導した。最後に「筋トレで大事なのは毎日続けることです。ただし、飲み込みづらい、むせが気になるといった人は、専門的な診断のもとにやらなければかえって危険なこともありますので、気軽に受診してください」と呼びかけた。

12月20日（金）の第2回では、耳鼻咽喉科学の相馬啓子教授が「ご存知ですか？ 認知症と難聴の関係」と題して、難聴になると認知症のリスクが高くなることについて解説した。

認知症高齢者数は2025年には約700万人、高齢者の約5人に1人に達すると推計され、厚生労働省が策定した新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）は、認知症を引き起こす要素として加齢、遺伝、高血圧、糖尿病、喫煙、頭部外傷、難聴を危険因子に挙げている。

相馬教授は「加齢による難聴は薬や処置では治りませんが、補聴器を使って聞こえと脳のリハビリはできます」と説いた。

また、難聴は単に聞こえないというだけではなく、言語ひいては思考や情動とも関わりがあるとして、難聴によって認知機能が低下することや、補聴器を装着している難聴者が健常者と同等の認知機能であるという海外の研究論文を引用し、聞こえづ

らと感じたら早めに補聴器を使用することを勧めた。さらに「補聴器はつけたらすぐに聞こえるわけではなく、定期的に補聴器の音量を調節しながら聴覚を鍛えることが必要です。使っていない補聴器も当科で合わせ直すことができます。早めに対処して認知症を予防しましょう」とまとめた。

3月までに全5回開き、第4回は2月28日（金）午後1時から整形外科長・小林博一医師が「肩こりの話」、最終回となる3月3日（火）午前11時から、歯科保存学講座・亀山敦史教授と歯科衛生士長・西窪結香歯科衛生士が「ホワイトニングの魅力と方法」について話す。

留学生による日本語スピーチコンテスト

歯学部第1学年・韓国出身 邊 俊伍君が優勝に輝く

「第30回留学生による日本語スピーチコンテスト」が11月29日（金）、松本市内のホテルで開催され、歯学部第1学年の邊俊伍君が出場し、優勝に輝いた。同コンテストは松本東ロータリークラブの主催により、1990（平成2）年より毎年開催されている。30回目を迎えた今回は、長野県内の6大学・専門学校から25人の応募があり、その中から選抜された中国、韓国、スリランカ、ベトナム、モンゴル、マレーシア、ロシアの7カ国9人の留学生が出場。ひとり5分間の持ち時間で日本での体

験などを流暢な日本語で語った。

邊君は「私が日本留学を決めた理由」と題し、日本と韓国の両国間における偏見や誤解をなくすための考察をスピーチした。兵役に従事した邊君が軍隊生活で日本の小説『雪国』を読んでいたとき、軍の友人から「おまえはなぜ日本の小説を読んでいるのだ？ この裏切り者！」と罵られた体験に触れ、「そのような偏見はなぜ生まれるのでしょうか」と疑問を投げかけた。

その第一の要因は「国に対する感情を個人に対する感情と混同してしまうこと」と指摘。「政府間の争いや葛藤をまるで自分のことのように怒り、他国の人を嫌いだという人が最近が多いと感じます」と警鐘を鳴らした。

二つ目の要因は、コミュニケーションの不足。「メディアで構築されたイメージが先行して他国への偏見や嫌悪感をもっている人でも、その国の人とちゃん

と向き合って話をしてみると意外に話を通じる！あの人はいい人だ！と感じる場合が多いのです」と持論を述べた。

第三の要因としては現実逃避を挙げ、「ストレスを抱えたり厳しい状況に直面している人は、その根源が見つけにくい場合、怒りの矛先が他国に向けられやすい」と分析した。

そして邊君は、「私は中学2年のとき日本文化に興味を持ち、日本語の勉強を始めました。今



松本東ロータリークラブ・真峰 透会長より表彰を受ける邊君

振り返れば、日本人に対する漠然とした偏見はあったかもしれませんが、日本人と触れ合ううちにそうした偏見はなくなりました。また、私と出会った日本人の方々は韓国人に対する偏見を持たなくなつたように思います」と話し、日韓関係の修復を図るためにコミュニケーションの重要性を訴えた。

最後に「私は今、歯科大学で学んでいますが、卒業して母国に帰っても、ボランティア活動などを通じて両国の人々が偏見をなくすよう務めます。微力ながらそうすることによって、日韓関係が改善する望みを持っています。日本と韓国だけでなく、自分が学んだことを生かして世界平和の架け橋になりたいと思います」と締めくくった。

厳正な審査の結果、優勝者として表彰された邊君は「この荣誉は私ひとりだけのものではありません。原稿作成に助言してくれたクラスメートをはじめ、会場に応援に駆けつけてくれた日向啓君、日隈さくらさん、尹智湖君に感謝し、受賞を励みに良き歯科医師となるよう努力します」と感想を語った。

名画で楽しむギリシア神話〈33〉

オデッセイア ⑨

老翁のイメージ（ワイルド・ユー・「瞑想」）

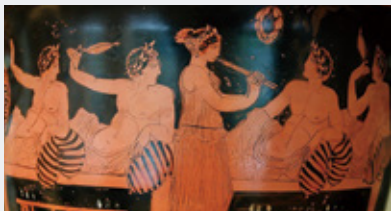


オデッセウスはテレマコスから不遜な求婚者たちの数や行状を詳しく聞き取った。そして息子に命じた。「夜が明けたらそなたは家に帰れ。わしは後から年老いた乞食の姿で豚飼いのエウマイオスに連れていってもらう。わしが奴らに恥ずかしめられ、酷い仕打ちを受けていても、知らん顔をしておれ。オデッセウスが帰国したことを、だれにも気づかせてはならない。そなたの母親にも教えるな」。

40人も求婚者とその従者が武装して待ち構えているところに単身で乗り込むことに不安を感じていたテレマコスに、さら

翌朝、テレマコスは母親の許へと帰っていった。わが子の無事な姿に、ペネロペイアは涙を流しながらひと抱きしめた。さて、親切な豚飼いは乞食老人の願いを聞き入れて、彼を町へ連れて行った。壮麗な屋敷の門の前まで来ると、大勢の者が内部でにぎやかに宴会を催しているらしく、おいしそうな匂いとともに歌声が聞こえてきた。

「また不埒な求婚者たちが盛大に飲み食いしているらしい。お前がおこぼれにありつけるかどうか、様子を見てきてやろう」と、豚飼いは館に入ってしまった。



古代ギリシャの宴会のイメージ（紀元前5世紀の壺）



館の門前に立つオデッセウスと忠犬

昔に別れた主人の臭いを、忠実な犬は覚えていたのだった。そして差し出された手を嬉しそうに一舐めすると、倒れてそのまゝ息絶えた。

お入りくだされ」と招き入れた。檻（ぼろ）をまとった乞食老人が宴席に入ってきたので、勝手気ままな飲み食いを楽しんでいた求婚者たちは怒り狂った。「そんな汚い奴はとっと追い出せ、酒がまずくなる」と、かじりかけの骨を投げつけるのはまだしも、立ち上がって足蹴にしようとする者もいた。（つづく）

（笠原 浩）

第6回カムカムメニュー・写真コンテスト
最優秀賞は「カムカムクッキー信州味」



高野豆腐を焼き上げた「カムカムクッキー信州味」

第6回カムカムメニュー・写真コンテストの表彰式が12月7日（土）、本学図書館2階学生ホールで催された。

コンテストは食感や噛み応えがあるメニューを市民や学生から募り、「よく噛んで美味しく健康に」をテーマに14年から毎年開催されている。今回は県内外より過去最多となる66件の応募があり、審査の結果、和田珠実さん（安曇野市）の「カムカムクッキー信州味」が最優秀賞に輝いた。

6回目を迎えた今回は応募方法に新たにSNSを加えた。インスタグラムとツイッターにカムカムメニュー専用アカウントを開設して作品を募集し、応募期間を通して過去の受賞作品や投稿作品を発信するなど、広く告知を行ったことで過去最多の応募件数につながった。

最優秀賞の「カムカムクッキー信州味」は高野豆腐を焼き上げてクッキーにするという点が高く評価された。川原一祐学長より表彰状と賞品を手渡された和田さんは「このような賞をいただきありがとうございます。皆さんもぜひご家庭でお試しください」。

また、学内最優秀賞には宮澤美咲さん（第4学年）の「秋の味覚の春巻き2種」が選ばれた。表彰式終了後は創立30年記念棟2階カフェテリアにおいて、入賞作品の中から数点のレシピを再現した試食会が行われ、参加者はよく噛むことを確かめながら味わっていた。

受賞者は次のとおり。（敬称略）
〔学外受賞者〕
◎最優秀賞

和田珠実 「カムカムクッキー信州味」
◎松本歯科大学賞
平林直美 「野菜の味噌漬けキッシュ」
◎うず潮賞
畑中智恵子 「レンコン宝石箱」
◎フォンターナデルヴィーノ賞
吉田英美 「キャラメルナッツタルト」
◎丸泉賞
赤沼真弓 「干し柿ロール」
◎塩尻市健康増進賞
中島裕子 「あやめと大豆と季節野菜のカムカムコロコロサラダ」
◎入賞
mainichinazegohan 「ヤングコーン」
関 功介 「ポテトのバリキコピザ」

小林美鈴 「ゴロン野菜のおげあかけ」
小澤松子 「彩りカムカム牛丼」
勝山公恵 「自然そのままだら」
森 淳子 「おやつ…ピーナツパン」
林 美和 「そばの実サラダ」
廣瀬沙織 「デクニク不要しるこ」
吉田英美 「キャラメルナッツタルト」
◎最優秀賞
宮澤美咲 「秋の味覚の春巻き2種」
◎優秀賞
高橋美圭 「蓮根とエリンギのタラコクリームスパゲッティ」
◎入賞
白石真愛 「砂肝の山かけ」
蔵岡 馨 「クリームチャウダー」

「ポテトのバリキコピザ」
「リンゴのやきやきザートヒゼ」
「クリムチャウダー」
「フランスパンを添えて」

耳鼻咽喉科学・相馬啓子教授が特別講演

第20回長野県歯科口腔外科協議会

11月16日（土）、本学図書館2階学生ホールにおいて、第20回長野県歯科口腔外科協議会が行われた。

平成から令和へと変わり、今年で20回を迎えた会である。当初は小さな会で、長野県内で口腔外科に関わっている先生方が

情報交換する「談話会」として始まった。会を重ねるごとに内容も臨床から研究と充実し、最近では歯科衛生士からの発表も多数行われるようになってきた。

今回は、本学口腔顎顔面外科学講座の芳澤享子教授が大会長を務め、長野市、上田市、佐久

中国雲南省より
専門学校生が大学見学
日本の医療・教育体制に高い関心



歯科理工学実習の実験を見学する一行

12月12日（木）、中国雲南省の紅河衛生職業学院口腔医学学科の学生と教員7人が来学した。来学の目的は、中国で歯学を学ぶ学生に日本の歯科大学の見学を通して、より専門的な理解と関心を深めることにある。

一行はまず病院を見学し、日本の管理された医療施設、特に衛生管理や患者目線に立った医療体系に関心を寄せていた。その後、講義館、実習館等の各施設を見学。実習館101教室では、歯学部第2学年の歯科理工学実習で金属の耐性実験などを興味深く見ていた。引率した徐錦佳先生は、「中国では歯科材料に関する学習は大学院レベルで行います」と驚いていた。

同校は3年制の専門学校で、現在中国の医療現場で不足している基礎医療人材を育成している。中国南部の雲南省は地理的にベトナム、ラオスなどと隣接している。

（学事室 室長 酒井康成）

市、飯田市など長野県内から広く大勢の先生にお集まりいただき、16演題の発表が行われた。症例報告や臨床統計のほか、歯科衛生士からは病院での歯科衛生士の役割についてなど、大変有意義で活発な討論が行われた。

また、特別講演では本学耳鼻咽喉科学の相馬啓子教授が「耳鼻咽喉科医からみた歯性上顎洞炎」と題してお話いただいた。



講演する相馬教授

上顎洞炎の内視鏡手術などわれわれ口腔外科医と密接なつながりのある観点から大変興味深い講演であった。

次回は信州大学歯科口腔外科の主管により開催予定である。（口腔顎顔面外科学講座 講師 中山洋子）

MTBペダリング
随想記



元J2二輪日本代表 鈴木 雷太

暖冬。松本に越してきて20年以上になるがこんなに楽で暖かい冬は初めてだ。かなり前から地球温暖化が叫ばれるなか、僕を含め多くの日本人がピンと来ていなかったように思う。しかし台風や暖冬などを経験し、気候の変化を目の当たりにした。

いろいろな意見があるが、一年の降水量は決まっているらしいので、秋にしっかりと雨が降れば雪が少ないと、大型台風が来た年の後の冬は雪が少ないと聞いたことがある。今年はまさに、残念ながらこれが当たった形になった。

先日、子どもと白馬へスキーに行った。聞いてはいたが予想以上に雪が無く、雪かきの跡が少ない。スキー場もゴンドラで上がった付近しか滑れなかった。ニュースではフキノトウが収穫されたり、福寿草が咲いている話が出たりと気分は3月のよう

だ。暖冬は悪いことばかりではない。このあたりに住む自転車選手にとつてはとてもありがたく、トレーニング計画を遂行しやすい。通常の冬であれば、トレーニング総時間をこなしていくのも降雪などと思うようにできない週が必ずあるからだ。しかし今年はその心配が少なく、ここまで順調に来ている。

天気は自分でコントロールできない。大自然が相手では、予報に合わせてしっかりと準備を行い、あとは素早く受け入れて最善を尽くすしか方法がないのかなと思う。ただし地球温暖化は受け入れるのではなく、今からでもできることをみんなが行っていくことが急務だ。

病院だより vol.18

シリーズ 診療部門紹介⑧

口腔インプラント科

口腔インプラントは、重度の歯周病や齲蝕などによって欠損した歯を補うため、顎骨に人工歯根を埋め込み上部構造を装着することによって、咀嚼や審美的改善を図る治療方法で、現在では予知性の高い欠損補綴法の一つとして認知されています。

松本歯科大学病院では、1970年代後半より多くのインプラント治療が行われてきました。さらなる治療技術の向上と地域医療への貢献を目的として、2007年2月に口腔インプラント科が開設されました。口腔インプラントは、歯科補綴学、口腔外科学、矯正歯科学、歯周病学、歯科放射線学など、広い領域の学識と高度な専門的技術が必要とする医療です。このため関連診療科の専門医と連携して安全・安心そして確実なインプラント治療を提供しています。

また骨質、骨量など顎骨の状態からインプラント治療の適応に制限がある症例に対し、骨移植、骨再生誘導法（GBR）、上顎洞底挙上術、ソケットリフトなどの骨増生法を用いることにより、より多くの患者さんにインプラント治療による口腔機能

画像解析



治療前

治療後

能の改善を図っています。私どもは、口腔内環境の改善、維持を患者さんに理解していただくことに重点を置き、処置後も患者さん、歯科衛生士、歯科医師のトライアングルの中で注意深いメインテナンスの継続がインプラント治療を成功に導く上で重要であると考えています。

今後とも、口腔インプラント科は安全・安心そして確実なインプラント治療を提供し、健康寿命の延伸に努めるとともに、患者さんから信頼していただける歯科医師の育成に努める所存です。

（口腔インプラント科 特任教授 植田章夫）

（口腔インプラント科 特任教授 植田章夫）

歯科放射線学講座・田口 明教授が市民公開講座で講演

パノラマX線写真で骨粗鬆症が見つかる！



講演する田口教授

本学歯科放射線学講座の田口 明教授は11月28日（木）、医療法人雄久会・塩尻病院の開設80周年記念・市民公開講座に招かれ、塩尻市レザンホールで「骨粗鬆症予防―歯科で骨粗鬆症は見つかるのか?―」と題して講演した。歯科治療で撮影されたパノラマX線写真によって骨粗鬆症のリスクがあるかをスクリーニング（判別）できることを説明し、歯科と医科の連携によって骨折患者を減らせると示唆した。

超高齢社会において医療費のさらなる増加が予想されるわが国では、骨折の発生率をできるだけ減らし、要介護にいたる高齢者の数を少なくすることが重要な課題となっている。日本の骨粗鬆症患者は約1300万人で、そのうち椎体骨折で症状があるのは3分の1のみ。定期的な医科の検診を受ける人はわずか4・6%にすぎない。

田口教授は講演でこのような現状を紹介し、「骨粗鬆症の多くは自覚症状がないため、約1000万人は未治療のまま症状が進行していきます。骨折すると死亡率が高いのも特徴で、早期発見・早期治療が重要です」と警鐘を鳴らした。また、「女性の骨粗鬆症患者は、女性ホルモンの減少により歯周病が悪化し

治療を提供し、健康寿命の延伸に努めるとともに、患者さんから信頼していただける歯科医師の育成に努める所存です。

（口腔インプラント科 特任教授 植田章夫）

（口腔インプラント科 特任教授 植田章夫）

（口腔インプラント科 特任教授 植田章夫）

（口腔インプラント科 特任教授 植田章夫）

（口腔インプラント科 特任教授 植田章夫）

高精度な歯内治療を可能とする
歯科用実体顕微鏡3台を新たに設置

歯内治療はこの10年で大きく変化し、現在、歯科用実体顕微鏡は「高精度な歯内治療」を行う上で必須の機器です。

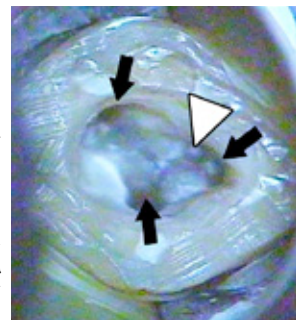
松本歯科大学病院保存科（歯内）では昨年11月、新たに3台の歯科用実体顕微鏡を設置し、合計5台の顕微鏡を用いてマイクログラフト（歯内治療）を行っています。

根管は直径数百マイクロメートル単位の細く複雑な構造をしているため、顕微鏡が大変有効

です。従来、見ることができない手探りであった根管治療が強烈な明るい光と拡大された視野によって可視化され、より精密で正確な処置が可能となりました。さまざまな困難な症例（根管の探索、根管内異物の発見・除去、歯根破折の発見、穿孔部の発見と封鎖、外科的歯内療法）に対して積極的に取り組めるよ

うになり、過剰切削や穿孔等の偶発症をなくし、低侵襲な手術が可能になりました。治療の成功率も向上しています。

また、拡大された治療画像の記録によって、患者さんに患歯



矢印は根管の入口、△は第4根管（MB2）を示す

年齢患者を見るにつけ、骨折する前の早期に骨粗鬆症を発見する方法を模索。16年にわたる研究の結果、皮質骨の厚みと形態を見ることによって骨粗鬆症のリスクを判別する視覚的な評価法を確立したことを述べた。

このスクリーニング法は国際学会で認められ、国際基準とな

っている。愛知県、広島県広島市、呉市においては、歯科医がパノラマX線写真による骨粗鬆症スクリーニングを積極的に推進。医科に紹介した患者の約95%が骨量減少もしくは骨粗鬆症と診断され、高い精度で早期発見に貢献している。

田口教授は、「歯科における骨粗鬆症スクリーニングは精密検査を受けるきっかけを提供するものであり、健康寿命の延伸につながります。骨折をしてからでは遅いので、パノラマX線写真によって歯科から骨粗鬆症のリスクが高いと助言されたら、整形外科に早期受診をしてください」と呼びかけた。



オルガナイザーの山下准教授（右から4人目）と保田博士（右から5人目）を囲む演者ら

（口腔放射線学講座 教授 宇田信之）

破骨細胞分化因子発見から22年を記念

RANKL発見記念国際シンポジウム開催

12月4日（水）および5日（木）、福岡市の福岡国際会議場において、本学総合歯科医学研究所の山下照仁准教授と保田尚孝博士（オリエンタル酵母株式会社生物科学研究所長）がオルガナイザーとして企画したシンポジウムが開催された。

保田博士は雪印乳業生物科学研究所在籍時、本学総合歯科医学研究所長の高橋直之教授と筆

者らとの共同研究により、「破骨細胞分化因子（RANKL）」を世界に先駆けて同定した。この分子クローニングの成功から22年が経過した現在、RANKL中和抗体薬は高カルシウム血症、骨粗鬆症および関節リウマチ治療薬として年間4千億円の販売実績を誇るまで成長した。

また最近、本間雅博士（東京大学医学部附属病院薬剤部講師）や青木和弘博士（東京医科歯科大学大学院教授）らは、本学との共同研究により、「RANKLリバースシグナル」というRANKLの骨形成における重要性を明らかにした（Nature誌2018）。

そこで今回、第42回日本分子生物学会において「RANKLリバースシグナル」は骨形成と骨吸収のカップリングを制御する」とのタイトルで、RANKL発見から22年を経過したことを記念したシンポジウムが開催された。このシンポジウムでは、RANKL発見に寄与したJack Martin博士（メルボルン大学名誉教授・セントビンセン

ト医学研究所元所長）を迎えて、RANKL発見から今後の研究の方向性が語られ、熱い議論が行われた。本学からは、総合歯科医学研究所の小出雅則准教授が「歯周病治療に対するRANKLリバースシグナルの応用の

可能性」について発表し、大変好評であった。また、筆者は骨細胞のカップリングにおける重要性について言及した。

日本分子生物学会シンポジウムの翌日には、久木田敏夫教授（九州大学大学院歯学研究所分子口腔解剖学分野）のご協力を得て、骨代謝研究の最近のトピックスを集約した8人の演者によるサテライトシンポジウムが九州大学病院にて開催された。本学からは、山下准教授が最近開発に成功した骨吸収阻害因子であるスクレロスタチン遺伝子欠損マウスの表現形質について発表し、多くの質問に対応した。

今回の国際会議の開催は、今後のRANKLを含めた骨代謝研究の地平線を切り拓くための大きな原動力となった。今後松本歯科大学を核とした、さらなる研究の発展を大いに期待したい。

（口腔放射線学講座 教授 宇田信之）

（口腔放射線学講座 教授 宇田信之）

（口腔放射線学講座 教授 宇田信之）

（口腔放射線学講座 教授 宇田信之）

（口腔放射線学講座 教授 宇田信之）

基礎研究から症例報告まで幅広い発表

松本歯科大学学会（例会）

11月21日（木）、第89回松本歯科大学学会（例会）が本館1階学生ラウンジで開催され、基礎研究から症例報告まで幅広い分野から一般演題5題のポスター発表が行われた。

歯科薬理学講座の荒敏昭准教授らは、漢方薬を構成する生薑と乾姜の代表的な成分である6-ショウガオール、抗炎症作用メカニズムを検討し、抗炎症作



最優秀発表賞を受賞した森院生の発表

用中的作用機序が従来の抗炎症薬とは異なることを示し、新たな抗炎症薬としての生薑の可能性を感じさせた。

歯科放射線学講座の黒岩博子講師らは、舌癌患者に対し口腔内超音波検査がいかに有用かを発表し、今後腫瘍のDetection、Invasionの評価のために口腔内超音波検査プローブ導入の重要性を伝えた。本学大学院の印南

11月22日（金）、福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野准教授・岡崎先生をお迎えし、大学院セミナーを開催した。岡先生は、大学として以外に知る人ぞ知る有名人である。なんと、昨年大晦日に放送された「第70回NHK紅白歌合戦」で紅組のトリを飾ったMISIAさんのお姉さんである。紅白歌合戦でMISIAさんは「アイノカタチ」[INTO THE LIGHT]そして「Everything」を歌い上げ、その圧倒的な生命力溢れる歌声を披露した。岡先生は、九州歯科大学在学中、同居していた妹の歌手志望という大きな夢を叶えるためにサポートされたそうである。

福岡歯科大学・岡崎先生が講演
「TGF-βシグナルと結合組織発生」

今回のようにラウンジで開催

に対する安全な全身麻酔管理法について発表した。



講師にお迎えした岡先生

「Craniofacial developmental biology」顎・顔面領域の発生生物学について講演された。カラーゲン線維と並んで重要な

な線維である弾性系線維は、歯根膜中ではオキシタラン線維と呼ばれるユニークな線維として存在している。オキシタラン線維の主たる構成成分であるEdenはマルファン症候群の責任遺伝子であり、さらにマルファン症候群ではTGF-βシグナルの亢進が起きていることが明らかになっている。Eden蛋白を組織学的に観察すると、Hertwig's上皮鞘周囲に多く発現していることを見出した。さらに、このHertwig's上皮鞘がTGF-βシグナルの制御を受けて歯根膜形成にも重要な役割を果たしていることが明らかにした。今後ますますの岡先生のご活躍を期待したい。

し、上皮特異的にノックアウトすると軟口蓋裂のみ生じる。このようなマウスの表現型の違いから軟口蓋発生に注目して解析を行った。口蓋形成時に口蓋間葉に発現する細胞外基質蛋白の中には、PerostinやTenascin Cといった軟口蓋に特徴的に強く発現しており、TGF-βによって制御されていることが明らかとなった。

岡先生は、小児歯科臨床医として診療に従事しながら、育児を両立させ、基礎研究を若い大学院生と一緒に楽しみながら取り組んできたことについてもお話された。今後ますますの岡先生のご活躍を期待したい。

（口腔生化学講座 准教授 中村美どり）

Alumni News

松本歯科大学校友会

長崎県支部

九州人会を開催し 34 人が参集
九州、沖縄の各支部より活動報告

10月26日（土）、第72回九州歯科医学大会が長崎県にて開催され、それに合わせ、九州、沖縄各県より34人の卒業生が集まり、新地中華街「会楽園」において九州人会が開催されました。長崎県支部長の古豊泰彦先生（7期生）より、各県から学生九州人会への補助を行うという提



交流を深めた九州・沖縄の支部会員の面々

案がなされ、各県の賛同が得られ、実施することに決定しました。さらに同支部からは、大学の耐震化工事についても寄付金を出すことが報告されました。

開会に先立ち、九州人会のまとめ役で今年3月に亡くなられた阿部孝二先生（1期生）のご冥福をお祈りした後、曾我葉穂子先生（3期生）にご挨拶いただき、開会となりました。

各県支部の活動報告があり、長崎の中華料理に舌鼓を打ちながら交流を深め、盛会のうちに開会となりました。

私は去年からの参加となりました。若い先生方の参加が少な

秋深まる紅葉の季節のなか、38人の女性歯科医師が参加して、オトナ美コンサルタントの近藤友子さんを講師にお招きして、「Smile Style Speaking 3つの『S』で身体と心を磨く」というテーマで講演をしていただき

第6回女性歯科医師の集い

「3つの『S』で身体と心を磨く」

12月1日（日）、三歯科大学（愛知学院大学歯学部同窓会・朝日大学歯学部同窓会・松本歯科大学校友会）女性協議会主催、「第6回女性歯科医師の集い」が、名古屋観光ホテルにて開催されました。

秋深まる紅葉の季節のなか、38人の女性歯科医師が参加して、オトナ美コンサルタントの近藤友子さんを講師にお招きして、「Smile Style Speaking 3つの『S』で身体と心を磨く」というテーマで講演をしていただき



講師の近藤さん（前列左から5人目）と三歯科大学女性歯科医師

口角の上げ方、姿勢、歩き方話し方など日々少し意識するだ

また、グループに分かれて食事を楽しみながら、各自が今抱えていること、子育て、親の介護、後継者、自分や身内の健康、自分のこの先など、世代によりさまざまですが、三歯科大学が混じり合って、初顔合わせのグループもたくさんありましたが、参考にしたリアドバイスしたりなど和気あいあいと楽しく充実した集いとなりました。

松本歯科大学病院「おはなしカフェ」のお知らせ

2月28日（金）午後1時～
「肩こりの話」
松本歯科大学病院 整形外科長 小林博一

3月 3日（水）午前11時～
「ホワイトニングの魅力と方法」
松本歯科大学歯科保存学講座 教授 亀山敦史

会場：本学病院ラウンジ
各回約20分・飲み物サービス・参加無料・申込不要

Economic News		内外の経済 1月30日付	
株価		東京外国為替相場と各国定期預金金利 (3カ月物)	
日本国債	23,166.15円	米ドル	109.94円 0.20%
米国国債	28,734.45ドル	英ポンド	142.86円 0.10%
金地金店頭価格 (消費税込み)		ユーロ	120.98円 0.01%
売り (1グラム)	6,110円	スイスフラン	112.96円 0.01%
買い (1グラム)	6,023円	タイバーツ	3.59円 0.10%
白金地金店頭価格 (消費税込み)		日本円	—— 0.01%
売り (1グラム)	3,864円		
買い (1グラム)	3,733円		

(SMBC 信託銀行HP等より)

人事異動

死亡退職 12月25日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

退職 12月31日付

2月行事予定

1日（土）・2日（日）

第113回歯科医師国家試験（東京）

3日（月）・4日（火）

一般入試（1期）

特待生1種選考試験（1期）

6日（木）

松本歯科大学

松本歯科大学大学院

松本歯科大学衛生学院

卒業証書授与式・学位記授与式

7日（金）

一般入試（1期）

センター利用入試（1期）

特待生1種選考試験（1期）

留學生入試（D）

合格者発表

10日（月）・21日（金）

定期試験（衛生学院第1学年）

12日（水）

進級試験（第2・3学年）

15日（土）

共用試験OSCE（第4学年）

17日（月）

進級試験（第5学年）

21日（金）

臨床技能試験（第5学年）

26日（水）

大学院発表会

29日（土）

AO入試（1期）

一般入試（1期）

編入学試験（1期）

特待生1種選考試験（1期）